

映画字幕翻訳講座 2025

in 大阪大学箕面キャンパス

字幕翻訳は通常の翻訳とは異なります。人が字幕を読み切れる文字数は1秒間に約4文字と言われるため、長い言い回しでも限られた文字数内で表現し、さらに映画の世界観を損なわないような、平易な言葉にまとめなくてはなりません。外国語の読解力はもちろん、日本語の文章表現力が求められる奥の深い職人技の世界。字幕翻訳とは、作品を深く理解して、その本質にもっともふさわしい日本語訳を模索していく作業です。

2008年から開催され好評の「映画字幕翻訳講座」を大阪大学箕面キャンパスで今年度も開催します。映画字幕の第一線で活躍されるプロの講師をお招きし、映像翻訳の基礎知識を分かりやすく、楽しく講義していただきます。

なかなか覗き見ることのできない世界を知る1日講座。どうぞお気軽にご参加ください。

日時 2025年2月22日(土) 13:00開講 (約3時間予定)
受付: 12:30~ (休日のため12:30以前は建物内に入れません)

会場 大阪大学箕面キャンパス 1階 大講義室
北大阪急行線「箕面船場阪大前駅」下車 徒歩 約3分

講師 松岡葉子さん
字幕翻訳家、映画翻訳家協会会員。フランス語、英語を中心に劇場公開作品、映画祭など幅広く字幕翻訳を手がける。近作に『サン・セバスチャンへ、ようこそ』『助産師たちの夜は明ける』『ボレロ 永遠の旋律』など。

惣川雅子さん
字幕制作ディレクター。東京現像所で字幕制作ディレクターとして、数多くの劇場映画の字幕制作にたずさわる。現在はフリー。

司会 古川裕先生(大阪大学大学院人文学研究科教授)
専攻分野は現代中国語研究、文学博士(北京大学)。中国語の映画や音楽を使った中国語の教育法を実践している。大阪アジア映画祭では、『トラブル・ガール』『黒の教育』『宇宙探検編集部』『人として生まれる』『大いなる餓え』などの字幕翻訳・監修を担当した。

受講料 無料 (事前登録制・先着150名程度)

申込み teket(右のQRコード)にてお申し込みください。
<https://teket.jp/7707/43628>

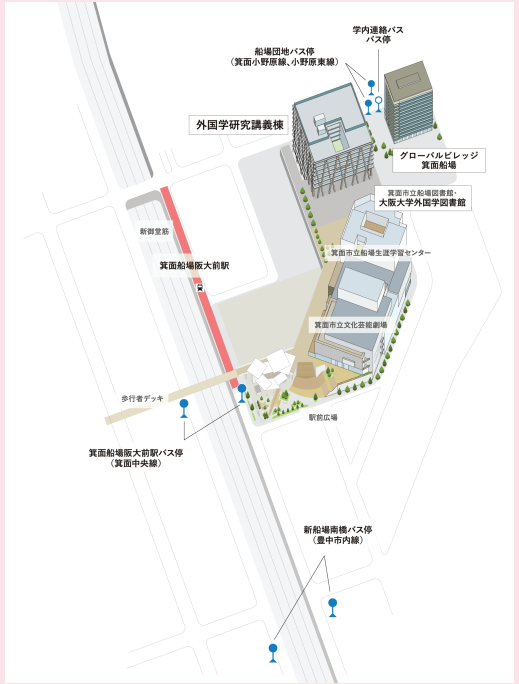


* 受講日の午前9時まで受付いたします。
* 大阪大学の学生の方は、席に余裕がある限り、事前登録なしでも受講いただけます。

お問い合わせ:
(一般の方) 大阪アジア映画祭運営事務局 info@oaff.jp
(大阪大学の学生) 大阪大学人文学研究科箕面事務部 TEL 072-730-5013/5015

主催:大阪大学大学院人文学研究科/大阪映像文化振興事業実行委員会
共催:大阪大学外国学図書館
協力:アテネフランセ文化センター/特定非営利活動法人映画美学校 映像翻訳講座

本講座では、皆さんに映画の1シーンを実際に翻訳していただきます。言語は英語です。辞書などをお持ちいただいても構いません。日本語字幕翻訳を体験し、その奥深さ・楽しさ・難しさを知っていただくことが目的ですので、お気軽にご参加ください。翻訳体験に参加せず、聴講だけでも参加も歓迎です。



アジア映画のポスターと映画・翻訳に関する図書の展示
2025年1月22日(水)~2月22日(土)
大阪大学外国学図書館
(箕面市立船場図書館)3階